

第4次防府市観光振興基本計画の策定に向けて

- 1. 現計画の検証**
- 2. 次期計画策定の趣旨等**
- 3. 観光を取り巻く現状**
- 4. 防府市の課題**
- 5. 次期計画の構成案**
- 6. 今後のスケジュール**

1. 現計画の検証

- 2021年度からの5年間を計画期間とした「第三次防府市観光振興基本計画」では、『多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される「住みたくなる」「訪ねたくなる」まち ほうふ』を目指す姿として観光地域づくりを進めてきた。
- 本市の構成要素である「自然」「歴史」「スポーツ」「生活文化」をベースに、「観光地」「食」「おもてなし」の三本の矢（展開方針）で事業を整理し、具体的な取組の展開に努めた。
- 駐車場確保や食に関する取組など、実施体制等が整わず一部が実施保留となったものの、コロナ禍にあっても柔軟に対応し、多くの取組を進めることができた。（進捗状況資料参照）
- KGI・KPIについては、いずれも期間中に目標を達成することができておらず、特に、観光客の消費額や満足度といった地域経済の活性化に直結する指標は低調となっている。
- 改めて現状や課題を整理し、目標達成に向けて効果的な施策を位置付けることが必要。

重要目標達成指標（KGI）及び重要業績評価指標（KPI）の状況

◎ サンプル数 600人分（内訳：①山口県（防府市以外）、②広島県、③福岡県 男女各100人ずつ）

【重要目標達成指標（Key Goal Indicator）】

指標	当初	2021年	2022年	2023年	2024年	目標値（2025年）
① 市民の重要度（観光振興）	(2019年) 1.20ポイント	-	-	-	-	1.50ポイント
② 観光客の満足度	(2020年) 1.43ポイント	(2021年) 1.59ポイント	(2022年) 1.59ポイント	(2023年) 1.63ポイント	(2024年) 1.41ポイント	2.00ポイント

〈算出方法〉 ①市民アンケート調査 ②WEB等アンケート調査

【重要業績評価指標（Key Performance Indicator）】

指標	当初	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	目標値（2025年）
① 認知度向上 (1,000市区町村中)	(2019年) 439位	(2020年) 467位	(2021年) 491位	(2022年) 503位	(2023年) 480位	(2024年) 490位	300位以内
② 観光入込客数	(2019年) 2,397,000人	(2020年) 1,861,637人	(2021年) 1,922,310人	(2022年) 2,048,936人	(2023年) 2,314,695人	(2024年) 約2,580,000人※1	3,000千人
③ 一人当たりの観光消費額	(2020年) 5,722円	~	(2021年) 5,626円	(2022年) 4,999円	(2023年) 5,448円	(2024年) 5,078円	10,000円

〈算出方法〉 ①地域ブランド調査の「認知度」 ②防府市で実施している調査 ③WEB等アンケート調査

※1 集計中

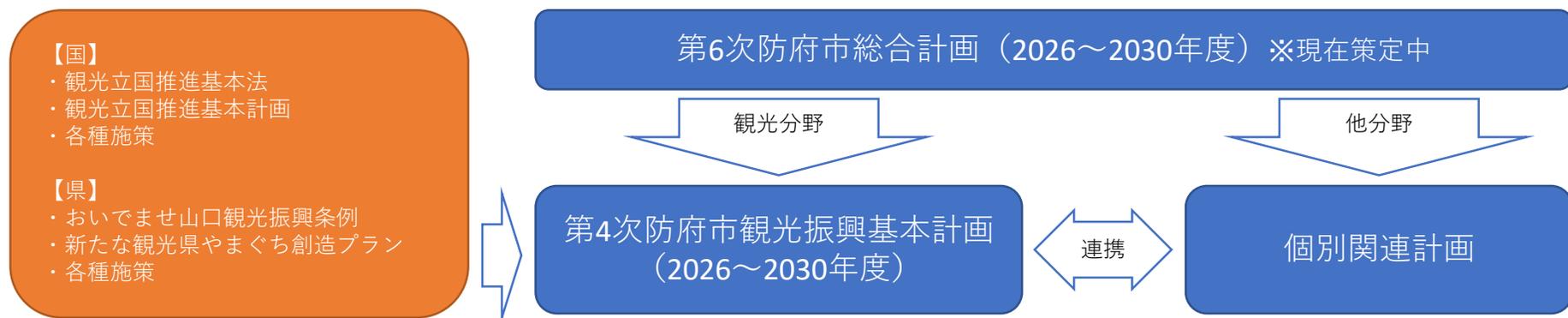
2. 次期計画策定の趣旨等

(1) 計画策定の趣旨

- 観光産業は裾野が広く、観光客の消費活動による地域経済の活性化や雇用機会の増大など、高い経済波及効果がある。
- 観光振興の取組を通じ、市民が様々な地域資源の価値を再認識することは、地域への誇りと愛着を育むことに繋がる。
- 人口減少や少子高齢化が進む中、観光振興は地域の維持・発展に極めて重要。
- このため、防府市においては、2020年度に「第三次防府市観光振興基本計画」を策定し、『多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される「住みたくなる」「訪ねたくなる」まち ほうふ』を目指して様々な事業を展開してきた。
- 今後、2026年のデスティネーションキャンペーンや2027年の防府天満宮御神忌1125年式年大祭という、観光振興にとって絶好の機会を迎える中、これまでの成果を活かしながら、さらなる取組を進める必要がある。
- 加えて、現在策定中の第六次防府市総合計画では、重点プロジェクトのひとつに「恵まれた資源を活かした交流拡大」を掲げてさらなる交流人口の拡大を図り、まちづくりの基本目標である「明るく豊かで 健やかな 防府」の実現につなげることとしている。
- こうした背景から、本市のさらなる観光振興に向け、今後5年間の基本的な方向性や施策を示すために本計画を策定する。

(2) 計画の位置付け・計画の期間

- 「第6次防府市総合計画」の観光分野に関する個別計画
- 他分野の関連計画との連携
- 国や県の方針との整合・施策の活用
- 計画期間は令和8年度（2026年）度から令和12年（2030年）度までの5年間

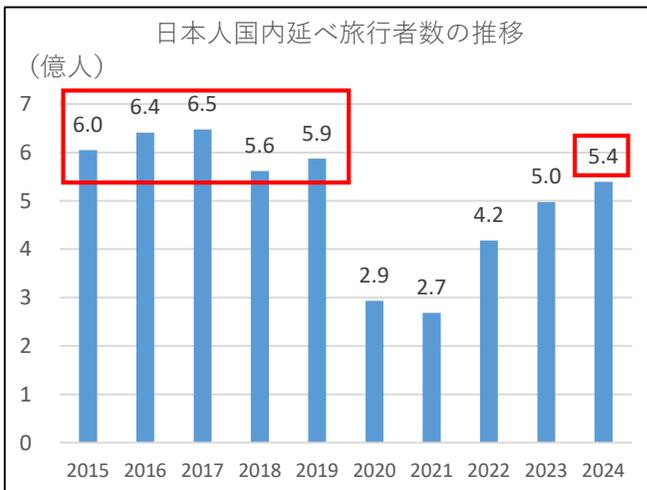


3. 観光を取り巻く現状

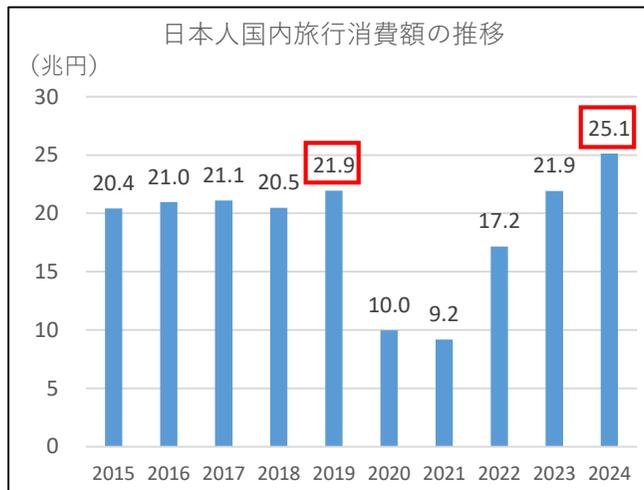
(1) 国の動向

【国内旅行の状況】

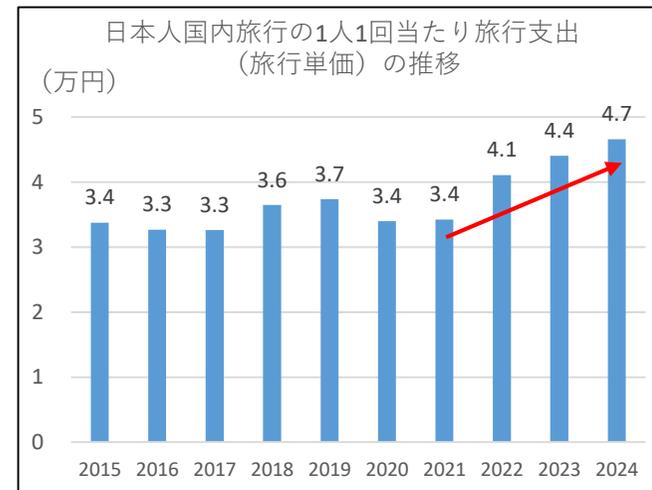
- 日本人国内延べ旅行者数は回復しているものの、コロナ前（2019年）には届いていない。
- 日本人国内旅行消費額はコロナ前（2019年）を上回っている（+14.5%）。
- 一人当たりの旅行単価はほぼ横ばいだったが、近年上昇傾向にある。



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」
(2024年は速報値)



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」
(2024年は速報値)



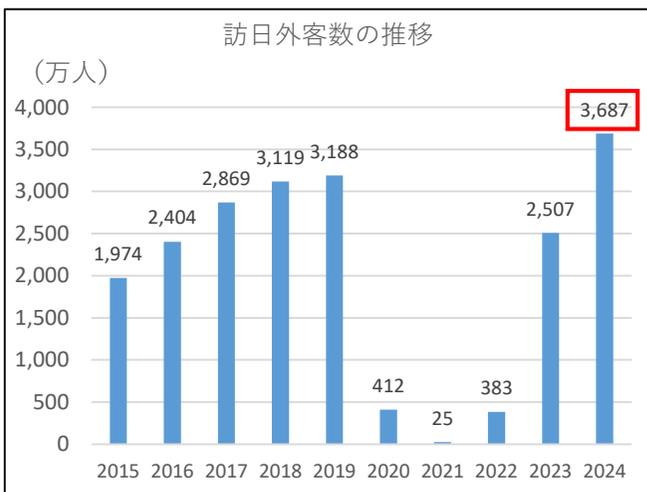
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」
(2024年は速報値)

3. 観光を取り巻く現状

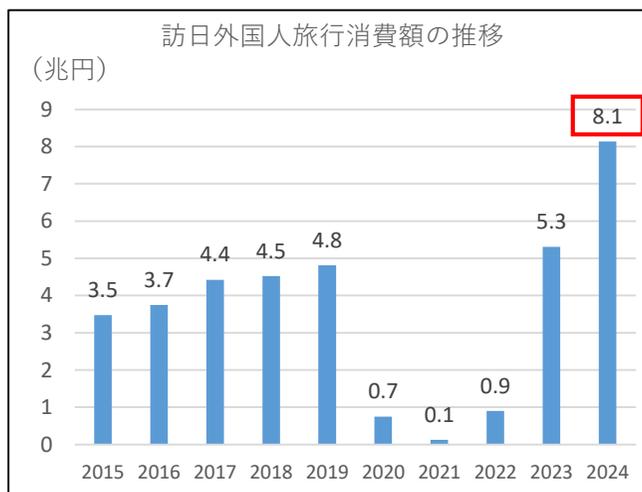
(1) 国の動向 (続き)

【インバウンドの状況】

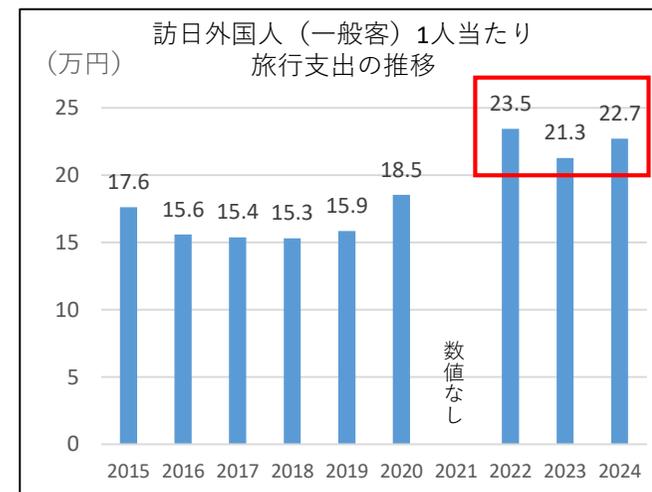
- 2024年の年間訪日外客数は3,687万人、訪日外国人旅行消費額は8.1兆円で、いずれも年間過去最高を更新した。
- 1人当たりの旅行支出は22.7万円で、3年連続20万円を超えている。



出典：日本政府観光局 (JNTO)
※2024年は推計値



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査 (旧訪日外国人消費動向調査)」 (2024年は速報値)
※2021年10-12月期から2021年7-9月期はコロナの影響で調査中止のため、年間消費額の2020年～2022年は試算値、1人当たり旅行支出の2020年・2022年は試算値、同2021年は数値なし



3. 観光を取り巻く現状

(1) 国の動向 (続き)

【施策の方向性】

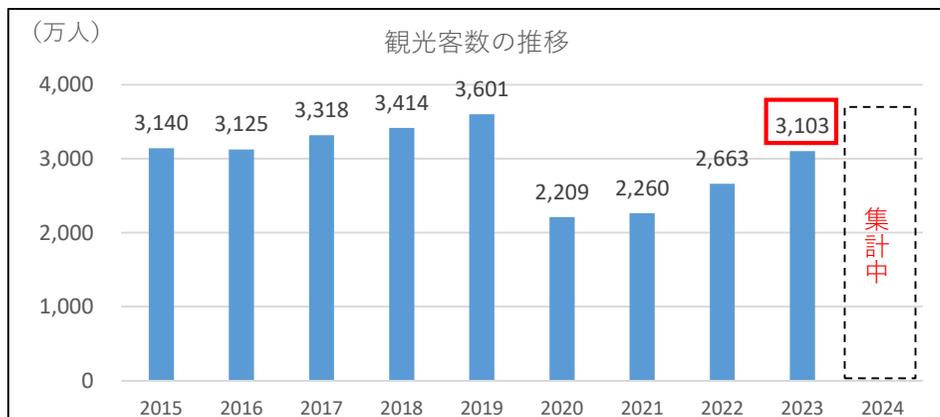
- 『観光立国推進基本計画 (第4次：計画期間2023～2025年度)』では、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに、「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせることとしている。
- 『明日の日本を支える観光ビジョン (2016年3月策定)』では、2030年の目標値として「訪日外国人旅行者数：6,000万人」「訪日外国人旅行消費額：15兆円」を掲げている。

(2) 県の動向

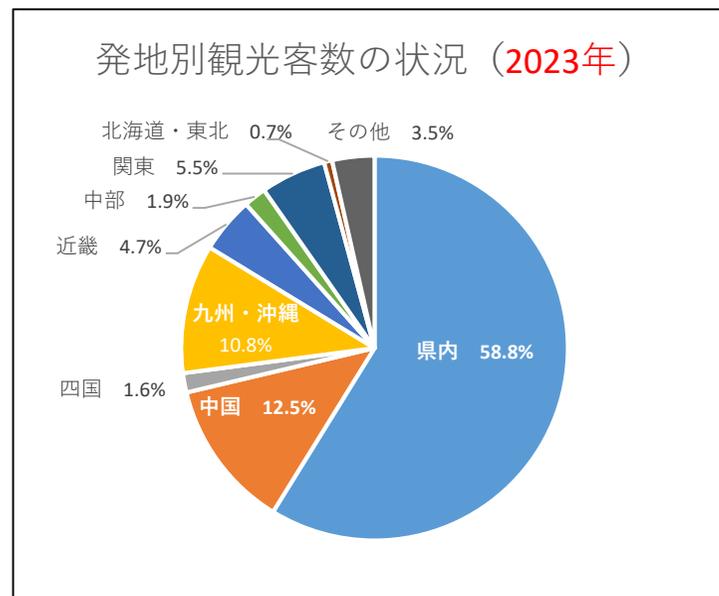
【観光客の状況】

- 3,000万人台まで回復。
- 県内、中国、九州・沖縄からの観光客が約8割。

※ いずれも2024年の数値発表により更新



出典：山口県「令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向」



出典：山口県「令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向」

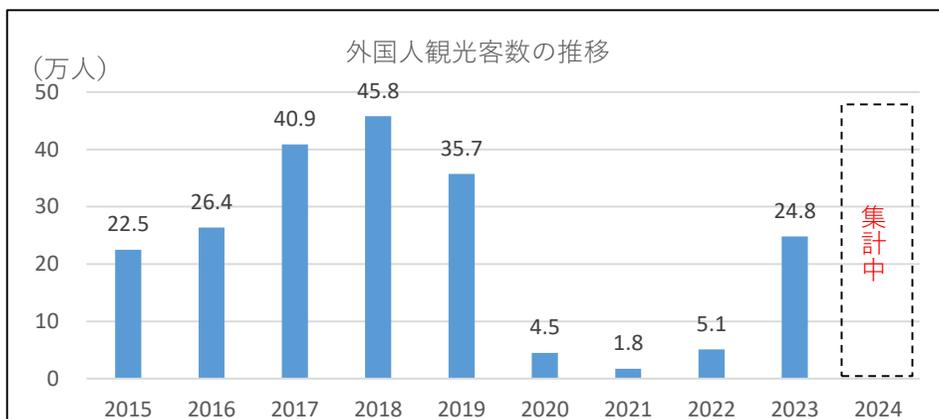
3. 観光を取り巻く現状

(2) 県の動向 (続き)

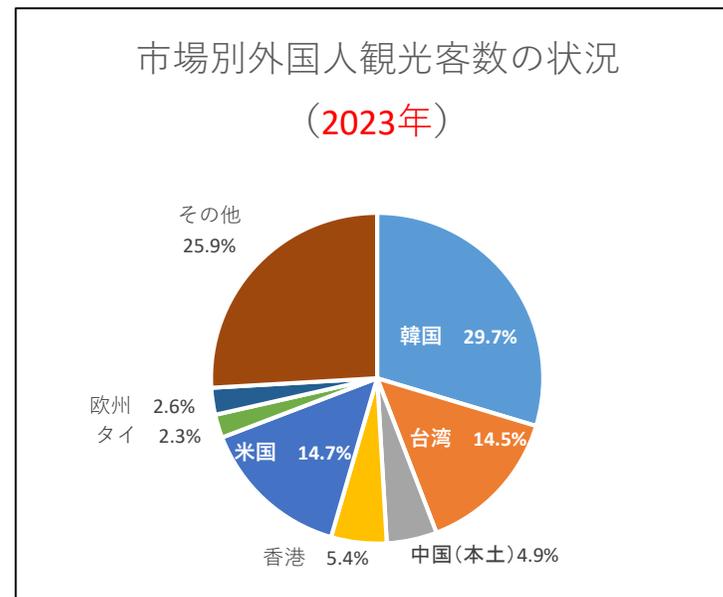
【外国人観光客の状況】

- 渡航制限の緩和等により大幅に回復
- 韓国、台湾など東アジアからの観光客が5割強を占める。

※ いずれも2024年の数値発表により更新



出典：山口県「令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向」



出典：山口県「令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向」

【施策の方向性】

- 『新たな観光県やまぐち創造プラン（計画期間2022～2026年度）』では、4本の施策の柱に「新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり」「観光客の心をつかむ戦略的なプロモーションの展開」「やまぐちの多彩な魅力を活かした幅広い交流促進策の推進」「反転攻勢に向けた誘客対策の強化によるインバウンドの拡大」を定め、施策を推進することとしている。
- 令和8年秋に開催が決まった「山口デスティネーションキャンペーン」に向け、「万福の旅 おいでませ ふくの国、山口」のもと、全国からの誘客と県内周遊を促進することとしている。

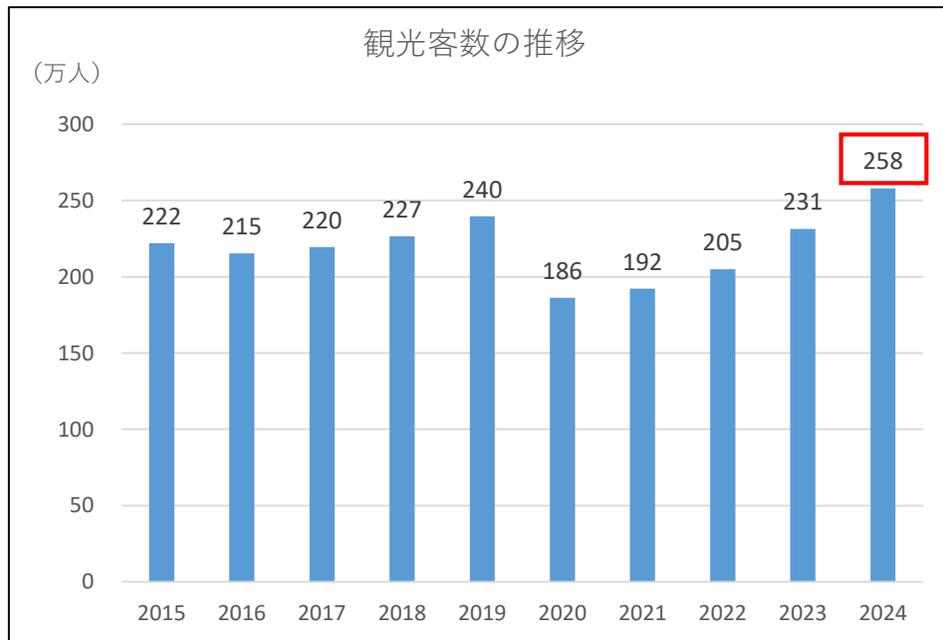
3. 観光を取り巻く現状

(3) 防府市の現状

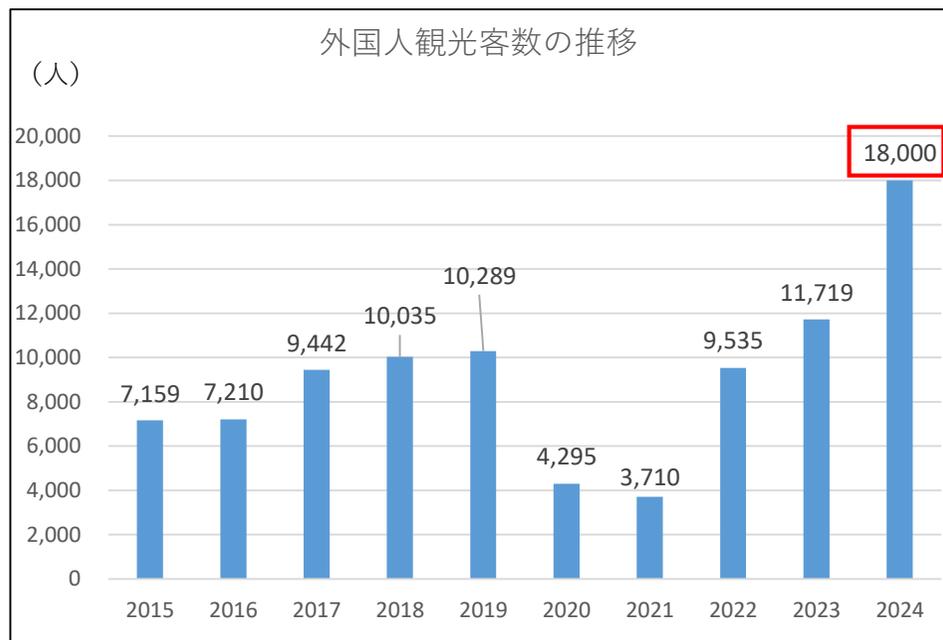
【観光客数・外国人観光客数】

- 観光客数はコロナ禍を経て順調に回復し、2024年の観光客数は過去最高を更新し約258万人となる見込み。
- 観光客に占める外国人観光客の割合は低いものの増加傾向にあり、2024年は約18,000人となる見込み。

※ いずれも2024年の数値発表により更新



出典：山口県「令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向」
(2024年は防府市の独自調査による見込み)



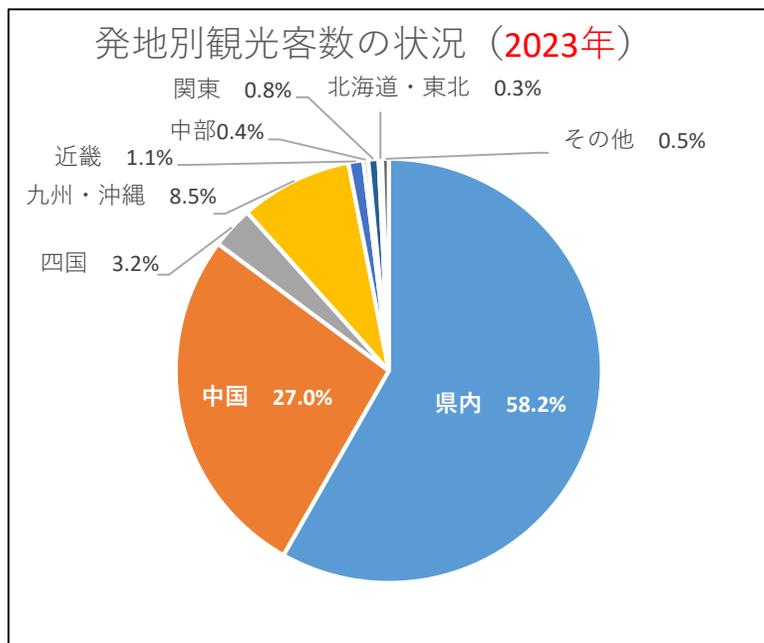
出典：山口県「令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向」
(2024年は防府市の独自調査による見込み)

3. 観光を取り巻く現状

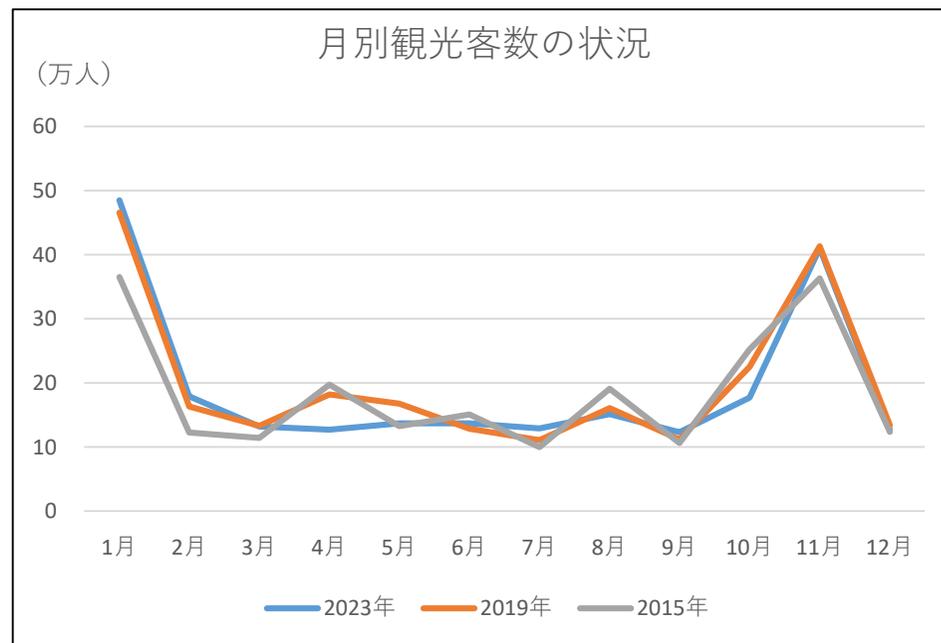
(3) 防府市の現状 (続き)

【発地別・月別】

- 県内、中国、九州・沖縄からの観光客が約9割を占め、県全体（約8割）に比べて高い傾向にある。
 - 観光客は1月（初詣）・11月（御神幸祭）に集中しており、傾向は変わっていない。
- ※ **いずれも2024年の数値発表により更新**



出典：山口県「令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向」



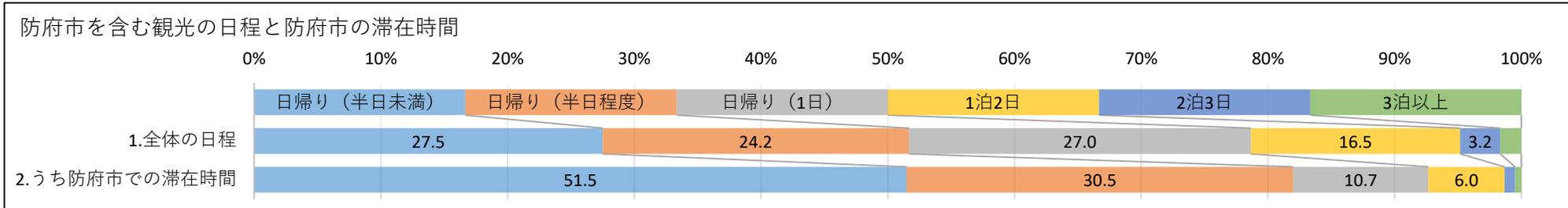
出典：山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」(平成27年、令和元年、令和5年)

3. 観光を取り巻く現状

(3) 防府市の現状 (続き)

【滞在時間】

➤ 9割以上が日帰りで防府市に訪れている。

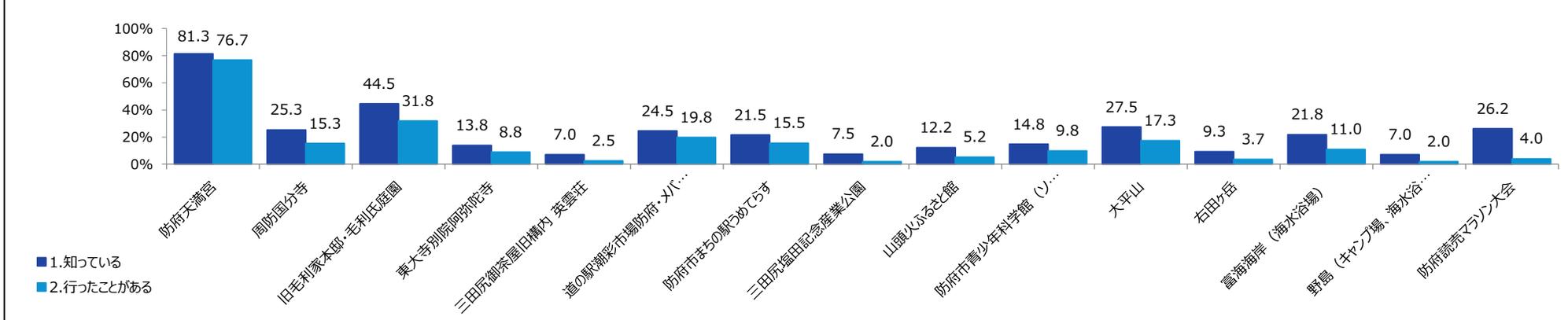


出典：防府市「WEBアンケート調査」

【認知率と来訪率】

- 防府天満宮の認知率・来訪率がともに約8割と突出しており、次いで毛利氏庭園が高い値となっている。
- このほかでは、大平山、周防国分寺、潮彩市場防府・メバル公園、まちの駅うめてらすが認知率・来訪率ともに比較的高い良好な観光資源となっている。
- 観光施設のうち、三田尻塩田記念産業公園、英雲荘、山頭火ふるさと館は認知率と来訪率が比較的乖離しており、関心を惹起する必要がある。

知っている・訪れたことがある防府市の観光地



出典：防府市「WEBアンケート調査」

3. 観光を取り巻く現状

(3) 防府市の現状 (続き)

【消費額】

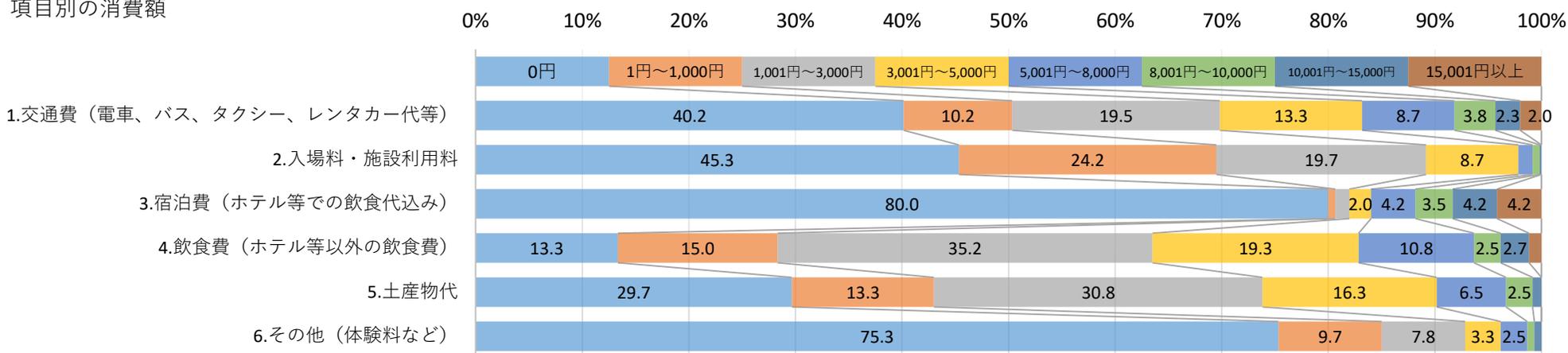
- 8割以上が10,000円以下の消費となっている。
- 項目別では、飲食・土産物での消費が多い。

防府市で使った一人あたりの総額



出典：防府市「WEBアンケート調査」

項目別の消費額



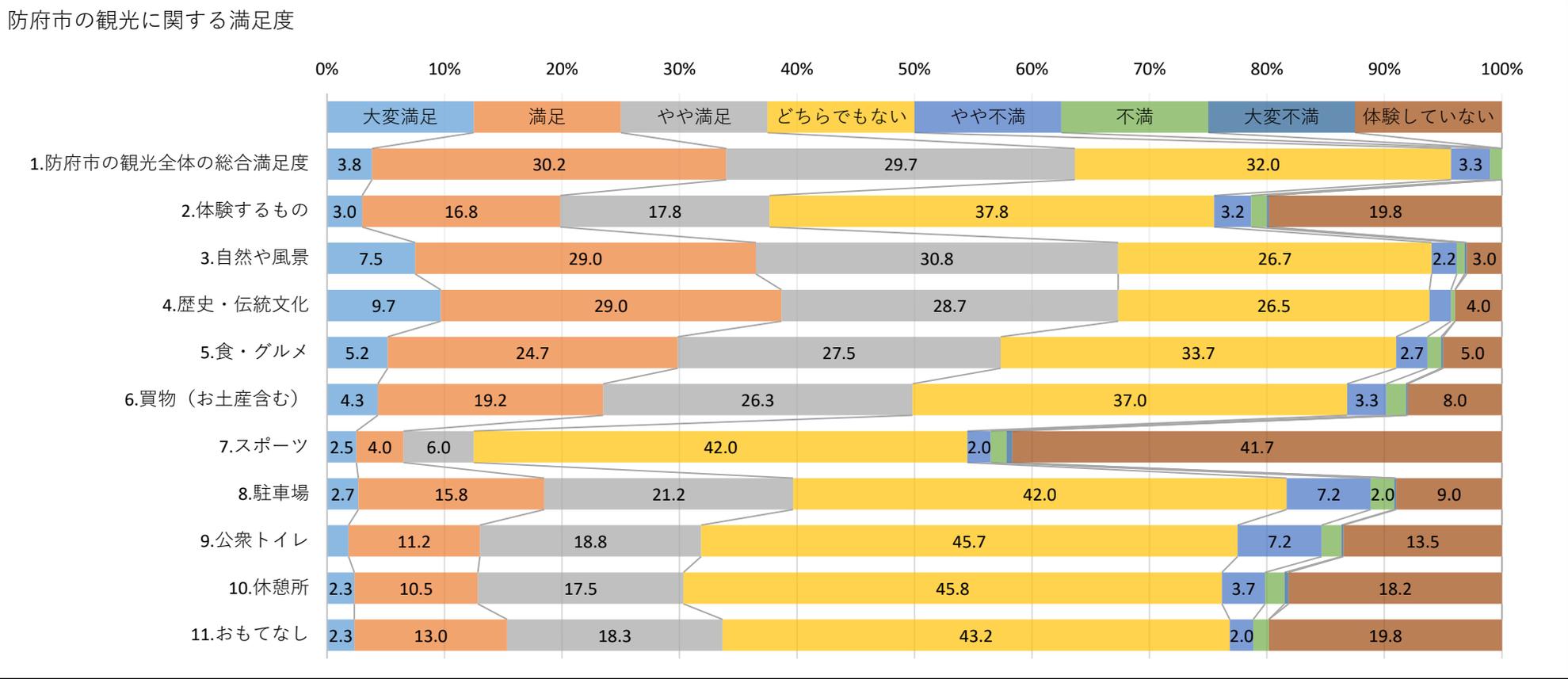
出典：防府市「WEBアンケート調査」

3. 観光を取り巻く現状

(3) 防府市の現状 (続き)

【満足度】

- 防府市の観光全体には6割強が概ね満足している。
- 項目別では、歴史・伝統文化、自然や風景に関して7割近くが満足しており、次いで食・グルメ、買物の満足度が高い。



出典：防府市「WEBアンケート調査」

4. 防府市の課題

防府市の観光を取り巻く現状を踏まえ、課題を整理。

➤ 受入環境の整備

2024年の観光客数が過去最高となる見込みで、外国人観光客も増加傾向にある。観光客に快適な時間を過ごしてもらうため、既存観光施設等の維持管理はもとより、さらなる受入環境の整備が必要。

➤ 効果的な情報発信

防府天満宮は認知率・来訪率が高く、県内でも有数の観光地である。本市には防府天満宮以外にも数多くの観光資源を有しており、コンテンツも充実してきている。その魅力をしっかりと伝え、さらなる観光誘客と再来訪、回遊促進を図るため、効果的な情報発信が必要。

➤ 消費を促し満足度を高めるおもてなしの提供

国全体の観光消費額が増加傾向にあり、本市においても消費額を伸ばす余地がある。日帰り観光客が大半を占める本市にあって、消費額の向上や滞在時間の延長等により地域経済の活性化につなげ、さらには観光客の満足度向上を図るため、おもてなし力の向上や新たな観光コンテンツづくりが必要。

5. 次期計画の構成案

第1章 計画策定にあたって

1. 計画の趣旨
2. 計画の位置付け
3. 計画の期間

第2章 観光を取り巻く現状と課題

1. 国の動向
2. 山口県の動向
3. 防府市の現状と課題

第3章 計画の方向性

1. 基本理念
2. 基本方針
3. 目標値

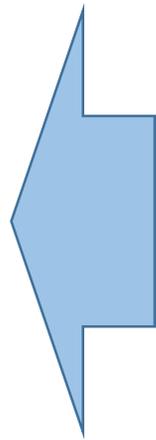
第4章 施策の展開

1. 施策体系
2. 展開する取組

第5章 計画の推進に向けて

1. 推進体制
2. 進行管理

✓ よりシンプルでわかりやすい計画へ



【参考】第3次防府市観光振興基本計画の構成

I 計画の基本的な考え方

- 1 本市が目指す観光地域づくりの考え方
- 2 計画策定の背景と目的
- 3 第2次防府市観光振興基本計画の総括
- 4 計画の位置づけ
- 5 計画の期間

II 本市を取り巻く環境

- 1 近年の観光市場の動向
- 2 新型コロナウイルス感染拡大以前の国の観光動向
- 3 新型コロナウイルス感染拡大以前の山口県の観光動向
- 4 新型コロナウイルス感染拡大以前の本市の特徴
- 5 本市の観光に係る現状・課題

III 本市の観光将来像

- 1 観光地域づくりの目指す姿
- 2 本市を構成する要素 (Key Value)
- 3 本計画の目標フレーム

IV 展開する具体的な取組

- 1 展開方針
- 2 具体的な取組の考え方
- 3 具体的な取組内容

V 施策体系の整理

VI エリアビジョン

VII 計画の推進に向けて

- 1 推進体制について
- 2 進捗管理について

6. 今後のスケジュール

下記のスケジュールで策定を進める。

※上位計画である「第6次防府市総合計画」策定の進捗状況により前後することがある。

